令和８年４月定例教育委員会会議録

令和８年４月１日　定例熊谷市教育委員会を熊谷市立熊谷西小学校体育館内まごころルームに招集する。

○　出席者

渋谷　昌美、小林　敏宏、大石　聡一、石井　智章、上松　妃都美

○　出席事務局

教育次長	高橋　千春
参事兼学校教育課長	中谷　樹
教育総務課長	小暮　洋久
社会教育課長	平　雅史
教育総務課副課長	増田　彩子
教育総務課主査	宮尾　美和

１１時４５分　４月定例教育委員会開会

教育長から、令和８年４月定例熊谷市教育委員会の開会の宣言があった。

事務局から、傍聴希望者がいない旨の報告があった。

教育長が、本会議の会議録の署名人に石井委員を指名した。

日程第１（報告第４－１号）寄附申出について

教育総務課長から、子供たちの生涯にわたっての歯と口の健康づくりのためとして、『わたしの歯っぴーファイル１，３００冊』１０万４千円相当を、熊谷市歯科医師会様から、民俗資料として、熊谷図書館へ、水がめ（常滑焼）１０万円相当を、市内在住の茂木茂様から、それぞれ寄附申出いただいたとの報告があった。

（質疑等）

石井委員から、わたしの歯っぴーファイルは全児童に配布されるのかとの質問があり、教育総務課長から、小学校の新１年生に配布し、６年間使用するとの回答があった。

日程第１（報告第４－２号）４月教育委員会行事予定について

教育総務課長から、次回５月定例教育委員会は、４月２８日に熊谷市役所６０３東会議室で開催予定であるとの説明があった。

日程第１（報告第４－３号）令和８年度熊谷の学校教育について

学校教育課長から、熊谷教育をさらに推進するため、知・徳・体のバランスのと

れた学力の育成を目指すとの説明があった。
本市では、テスト等の一般的な学力検査によって測定できる、いわゆる「知力」だけを学力を捉えず、思いやりの心などの「徳力」や、走る力、投げる力などの「体力」も広い意味での学力と捉え、知・徳・体のバランスのとれた学力を身に着けることを目指し、「授業は一期一会、授業中こそ子どもと向き合う時間」という気持ちで、１時間１時間の授業を大切に行っていく。
また、今年度も引き続き、「新熊谷プロジェクト」として、「教科等横断的な授業」や「オーセンティックな授業」を推進し、授業での学びを教室の中だけにとどめず、実社会や実生活で生きて働く汎用的能力の育成を図っていく。
（質疑等）
教育長から、今年度末頃に、2030 年度から実施予定の新しい学習指導要領が国から示される予定で、この次期学習指導要領では、これまで教科ごとに授業時間数が決められていたものを、学校ごとに時間数の柔軟な配分が可能になったり、新しい取組みが多く盛り込まれる見込みで、大きな転換点を迎えようとしているとの説明があった。
本市でも、新学習指導要領が始まる 2030 年度までのこの４年間で、20 年近く取り組んできた学校の２学期制や、部活動の地域連携など、今後の教育の在り方について色々検討していく時期とし、教育委員会でも随時報告を行っていくとの説明があった。

（その他）後援等承認決定した事業一覧について
教育総務課長から、令和８年２月１６日から令和８年３月１５日までに後援等承認決定した事業が１０件あったとの報告があった。

ほかに報告はなく、教育長の宣言により、令和８年４月定例熊谷市教育委員会を閉会した。

（１２時０５分　閉会）

署名　　教育長　　渋谷　昌美

委　員　　石井　智章